

野田市水道事業長期計画（地域水道ビジョン）（素案）に対する 意見募集の結果について

パブリック・コメント手続によって寄せられた意見と市の考え方は、次のとおりです。

1 政策等の題名

野田市水道事業長期計画（地域水道ビジョン）（素案）

2 意見の募集期間

平成 23 年 9 月 27 日（火）から平成 23 年 10 月 27 日（木）まで

3 意見の募集結果

提出者数・意見数	2 人	7 件
提出方法	直接持参	1 人 1 件
	郵送	0 人 0 件
	F A X	1 人 6 件
	E メール	0 人 0 件
政策等に反映した意見		2 件

4 意見の概要と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	案の修正
2	水道事業の概要（地域の概要）		
	2.2 地域の概要		
1	P 3 特に最大集落である大字木間ヶ瀬のところは、最大集落より地区とした方がいいのではないかと。	「野田市総合計画」の記述に合わせて特に最大集落である大字木間ヶ瀬のうち「最大集落である」を削除します。	修正有り
3	現状分析・評価（更新需要）		
	3.1.2 更新需要		
	2) 検討結果		
2	P 14 上花輪浄水場を存続し、隣接する高台に移設してはどうか。	老朽化している上花輪浄水場の更新については、「次期総合計画」の人口フレームや自己水源の重要性を考慮して、必要性の有無、配置等について、検討することとなっています。	修正無し

	意見の概要	市の考え方	案の修正
4 実現方策（安全で快適な水を供給する水道）			
4.2 目標			
1) 安全で快適な水を供給する水道			
3	<p>P 3 4</p> <p>配水管から蛇口までの給水については、貯留槽を経由することなく配水管から建物に直結式給水を行うことが一般的に衛生面に優れ、管理負担が少なく運転コストが低いことから望ましいとされているが、直結式給水の推進化としては。</p>	<p>ご意見のとおり、直結式給水を行うことで衛生面で安心した水を供給できることは、認識しております。</p> <p>2階建てまでは、全域可能ですが、それ以上の建物については、直結式給水にするには、現在の給水の水圧を増やす必要があり、このためには、給配水管の布設替え等が生じ、莫大な工事費等が掛かることから、推進化は困難であり、素案の修正はいたしません。</p>	修正無し
4.3 施策			
1) 安全で快適な水を供給する水道			
(1) 安全な水の供給			
4	<p>小規模貯留槽水道の検査と指導</p> <p>P 3 6</p> <p>保健環境行政と連携を図り、貯水槽水道の設置者・使用者に対して情報の提供・指導・助言を行います。としているが、市民にその情報提供をしては。</p>	<p>市民への情報提供の必要性は認識しております。</p> <p>ご意見の情報提供につきましては、市報、ホームページ及び行政資料コーナーで考えております。</p>	修正無し
(5) 応急給水・復旧体制の強化			
5	<p>耐震性貯水槽の整備</p> <p>P 4 3</p> <p>応急給水・復旧体制の強化として、各地域へ応急給水のための給水タンク車、搬送用トラック、ポリ容器の整備計画は。</p>	<p>ご意見の応急給水・復旧体制の強化については、災害対策マニュアルの改訂時に検討して参ります。</p>	修正無し

	意見の概要	市の考え方	案の修正
6	<p>停電への対応の強化 P 4 4</p> <p>停電への対応の強化について、長期に自家発電機を使用した場合の燃料の確保についての対応。</p>	<p>停電への対応の強化として、自家発電設備の充実を図っていく中で燃料の確保についても検討していくことから、素案の修正は行いません。</p>	修正無し
7	<p>災害対策マニュアルの作成 P 4 5</p> <p>災害対策マニュアルの作成の中に放射性物質対策等に対応し危機管理マニュアルを作成しては。</p>	<p>ご意見のとおり、災害対策マニュアルの更なる充実を図る必要性があることは認識しております。</p> <p>今後、災害対策マニュアルを改訂していく中で、<u>管路事故時、施設事故時、風水害、湯水対策、テロ対策</u>の後に放射性物質対策を追加いたします。</p>	修正有り